

8 / 3 1 充実した農業サポート

この日は朝から市場へ。道路に面して建っている新しい変わった形の建物、Mercato Civico です。7、8か月前まではすぐ裏にある、この倉庫のようなところで開かれていたが、移転したそう。その為、古い市場は木で封じられて閑散としていました。



で、今の新しい市場がこちら。毎日、野菜・肉・魚・チーズが売られています。子豚も丸ごと売られていたり・・・



その後は毎週土曜日に広場で開かれている市場へ。黄色いテントが太陽に映えて素敵。





出店者も、お客さんも若い人が本当に多いです。広場一つ分くらいなので小さめの市場です。この黄色いテント、Coldiretti という組織が市場をサポートしている印です。

Coldiretti とは。

1944 年に生まれた組織で、農家や、農業を始めようとする人を増やすためのサポートを行っており、イタリアで最も重要な農業の組織、かつヨーロッパ最大の農業の組織です。イタリア各地に事務所があり、市場を管理。約 150 万人の農家がこの組織に参加しており、新たな農業ビジネスのための税制上の優遇措置を与えたり、路上市場を開いて引退した農家にも利益をあげる仕組みを作っています。

この組織の成果は大きく、イタリアで農業に携わる人は増加しており、近年有機農法や都市型農業が取り入れられていることもあって、失業した若者が農業を始めるケースも増えているそう。

日本では、農業を続けるためのあるいは若者が新たに始めるための、十分なサポートがなされていないことが、農業離れや後継者不足を加速させていると改めて感じました。

イタリアで若い出店者が多いのは、こういった背景があると知って、頷けました。日曜市ではどんなサポートがなされているのか、日本に帰ったら調べてみたいと思います。

ちなみに黄色いテントではない市場は、この組織ではなく、ほかの自治体による管理のもと開かれています。Mercato Civico 等。